

科目名称：東京大学公開森林実習

標準履修年次：3年

「伊豆の公開森林実習 - 人と森林のあり方について考える -」

※本科目は単位互換制度の対象外ですが、農学実験研究生として受け入れ、受講証明書を発行いたします。所属大学における単位認定の有無については、各大学の教務担当事務に問い合わせ下さい。

担当教員：露木 聡（農学国際専攻）・鴨田重裕・広嶋卓也・平尾聡秀・井上広喜（演習林）

実施時期：平成29年9月5日（火）～9月8日（金）3泊4日

集合時刻：平成29年9月5日（火）12:50ころ（電車到着に合わせ指定する）

集合場所：伊豆急下田駅出口改札前（自家用車の使用は禁止です）

アクセス方法：乗換不要の特急踊り子号が便利（JR東京駅10時発、伊豆急下田12:36着）

実施場所：東京大学 大学院農学生命科学研究科 附属演習林 樹芸研究所

URL <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/jyugei/>

（問合せ先）〒415-0304 静岡県賀茂郡南伊豆町加納457

TEL: 0558-62-0021 FAX: 0558-62-3170

E-mail: jyugeiken@uf.a.u-tokyo.ac.jp

（宿 泊）東京大学保健体育寮（スポーティア）下賀茂寮（天然温泉に入れる大学寮です）

〒415-0304 静岡県賀茂郡南伊豆町加納 463 TEL: 0558-62-0741



林業遺産となったクスノキ林



森林教育プログラム制作風景



竹を使って川床作り

対象学生：森林に興味のある大学生。学部・学年を問わない。

定 員：10名（応募多数の場合は選考を行います）

なお、なおこの実習には東京大学農学部の3年生が20名程度参加します。

実習課題：人と森林のあり方について考える

実習内容：森林管理に必要な技術（ビッターリッヒ法による森林調査と調査プロットを設置して行う植生調査）を学ぶ。また、森林レクリエーションのアクティビティの作成・実施を通して、森林を身近なものに感じ、共に生きることを意識する。森林の様々な機能を意識し、人と森林のあり方について考える。

第1日「オリエンテーション」：この実習で学ぶこと、使用する機器の操作法。

第2日「森林をはかる」：森林蓄積量を調査する手法と森林植生を調査する手法を学ぶ

第3日「川床を作る」：竹林問題を取り上げ、実際に竹を切ったり割ったりして竹を使って川床を組み上げる。その川床をどのように活用するべきか検討してもらう。

第4日「森林教育プログラム」：森林のレクリエーション機能を学び、アクティビティを作成し、実施してみる。<伊豆急下田駅で15:30ころ解散>

参加費用：12,000円程度（宿泊費は指定口座に振り込み、食費は現地で徴収します）

その他、集合・解散場所までの往復の交通費等は別途自己負担です。

提出書類：①受講願（様式は東大演習林HP <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/ksj/>からダウンロードしてください）

②志望理由書（200字程度。様式自由）

③学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

※なお、農学実験研究生の出願に必要な書類について、後日案内します。

提出先：東京大学演習林企画部（〒113-8657東京都文京区弥生1-1-1）、ksj@uf.a.u-tokyo.ac.jp

※「公開森林実習申込」とわかるよう、郵送の場合は封筒に朱書きし、e-mailの場合は件名に書いてください。

提出期限：郵送の場合 平成29年5月18日（木）必着

メールの場合 平成29年5月18日（木）17時まで

平成29年5月26日（金）頃に参加の可否をe-mailにてお知らせします。

キャンセルポリシー：定員制のため希望しても受講できない人がいる可能性に留意し、日程等をよく検討の上で申し込んでください。やむを得ず欠席する場合は、すみやかに連絡すること（直前のキャンセルについては実費の負担を求めます）。